

【補足資料①】パーソナルレポートの得点からわかること

- パーソナルレポートの「詳しく見る」ボタンをクリックすると、得点の詳細が表示されます。
- 「**自分自身に対する認知**」は、自分の状態を本人がどう捉えているかがわかる項目で、**赤い得点が多いほど、つらい状況である（＝フォロー優先度が高い）**ことがわかります。
- 「**環境に対する認知**」は、職場への不満の強さがわかる項目で、**赤い得点が多いほど、職場に不満があったり、周囲に心を閉ざしている**ことがわかります。



▼ パターン1：職場に対して心を閉ざしきっている

自分自身に対する認知		環境に対する認知	
誇りを持てる	2.3	フィードバックと承認がある	1.7
当事者意識を持てる	1.7	持ち味に期待してくれる	2.3
思ったままを話せる	1.7	コミュニケーションを取りやすい	1.7
自分のままでいられる	2.0	個々人が尊重される	1.7

かつ、上記の例は「自分自身に対する認知」の得点も低く、非常に悪い状態

▼ パターン2：職場に一定の不満あり

自分自身に対する認知		環境に対する認知	
誇りを持てる	2.3	フィードバックと承認がある	3.3
当事者意識を持てる	3.3	持ち味に期待してくれる	2.3
思ったままを話せる	3.3	コミュニケーションを取りやすい	4.0
自分のままでいられる	2.0	個々人が尊重される	3.0

▼ パターン3：職場には不満がない

自分自身に対する認知		環境に対する認知	
誇りを持てる	1.7	フィードバックと承認がある	4.3
当事者意識を持てる	1.7	持ち味に期待してくれる	3.3
思ったままを話せる	1.7	コミュニケーションを取りやすい	4.0
自分のままでいられる	2.0	個々人が尊重される	4.3

かつ、上記の例は「自分自身に対する認知」の得点も低く、非常に悪い状態

【補足資料②】メンタリティを構成する要素の各項目の解釈について

相対的に高い得点・低い得点に注目し、以下を参考にメンバーの心情への理解を深めてみてください。

自己認知＝自分自身がどういう状態か

自分のままでいられる

- ◎ 職場では自然体で居られている・余裕がある
- × 居場所感がない・余裕がもてない

思ったままを話せる

- ◎ 本音や意見を素直に話せている・話していいと思える
- × 自分の意見や感じたことを素直には話せない・話したいと思えない

当事者意識を持てる

- ◎ 目の前の仕事に一生懸命になれている、意志をもって取り組むことができている
- × 目の前の仕事に打ち込めていない・一線を引いている

誇りを持てる

- ◎ 自分にとって・社会にとって意義がある仕事だと感じる、自信をもてる
- × やりがいを感じられない・キャリアにとって意味のない仕事だと感じる

環境認知＝職場に対してどう思っているか

個々人が尊重される

- ◎ 十分に自分のことを気にかけてくれる職場・上司だ
- × 放置される、気にかけてくれない職場・上司だ

コミュニケーションが取りやすい

- ◎ 雰囲気良く、話しやすい職場・上司だ
- × 話しにくい職場・上司だ

持ち味に期待してくれる

- ◎ 一人ひとりの良さを理解して、意味のある仕事を任せられる職場・上司だ
- × 一人ひとりの良さが活かせる仕事、意味のある仕事を任せられない職場・上司だ

フィードバックと承認がある

- ◎ 仕事ぶりを認めてくれる職場・上司だ
- × 仕事ぶりを認めてくれない・リアクションがない職場・上司だ

【補足資料③】メンタリティに影響している要素の各項目の解釈について

メンタリティに影響している要素20項目は、大きく以下6つのカテゴリに分類することができ、それぞれの要素を選択している背景には以下のようなことが考えられます。まずはメンバーがこれらの要素を選択している背景に目を向け、メンバーの心情への理解を深めてみてください。

